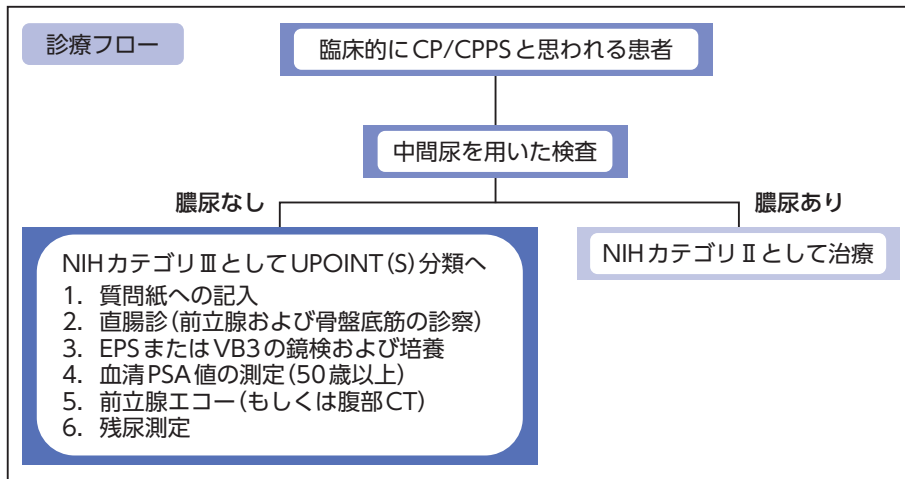


UPOINT (S) 分類チェックリスト(医師記入用)

記入日 年 月 日 患者氏名： 様 患者年齢： 歳

本資材は、慢性前立腺炎(NIHカテゴリⅢ、CP/CPPS)の患者さんの症状を、UPOINT (S)を用いて分類し、どのような症状で悩んでいるのかを把握したり、治療方針を決定したりするのに役立ていただけます。

下図を参考に診療をすすめていただき、「UPOINT (S)分類チェックリスト(患者さん用)」の結果や問診、身体診察から、どのドメインが陽性になるか、チェックシートでご確認ください。



UPOINT (S)の分類チェックシート

●「UPOINT (S)分類チェックリスト(患者さん用)」の結果から分類

☐ NIH-CPSI(排尿症状スコア)が5点以上	U(+)
☐ IIEF-5の合計点数が21点以下	S(+)
☐ PHQ-9の2項目以上で2点か3点が選択され、それが質問AかBで選択されている*	P(+)
☐ PCSの合計点数が30点以上	P(+)

●問診結果を確認

☐ 過敏性腸症候群、線維筋痛症、慢性疲労症候群の病歴がある	N(+)
☐ 血精液症を認める	O(+)
☐ 尿意切迫、頻尿、夜間頻尿のいずれかの症状を認める	U(+)

●腹部および骨盤部(会陰部・前立腺・骨盤底筋)の診察

☐ 筋肉の痙攣部位や痛みを誘発する部位が存在する	T(+)
☐ 会陰部、陰茎、尿道、精巣/陰嚢痛を認める	T(+)
☐ 腹部・骨盤部を超えて(それ以外の部分にも)痛みを示す	N(+)
☐ 前立腺に圧痛を認める	O(+)
☐ EPSもしくはVB3の鏡検で白血球増多を認める	O(+)
☐ EPSもしくはVB3の培養で陰性桿菌もしくはエンテロコッカス属が陽性	I(+)
☐ 前立腺エコー(もしくは腹部CT)で前立腺に石灰化を認める	O(+)
☐ 中間尿の検尿後に100mLを超える残尿を認める	U(+)

U: Urinary(排尿障害)

P: Psychosocial(心理社会的要素)

O: Organ specific(前立腺特異的症候)

I: Infection(感染症候)

N: Neurologic/systemic conditions(神経学的要素)

T: Tenderness of skeletal muscles(骨格筋の圧痛)

S: Sexual dysfunction(性機能障害)

*この評価基準はUPOINT (S)におけるP(+)のみに対応するものです。PHQ-9の気分障害スクリーニング評価は0~4点:なし、5~9点:軽微~軽度、10~14点:中等度、15~19点:中等度~重度、20~27点:重度。

監修: 札幌中央病院 泌尿器科 診療部長 市原浩司先生



扶桑薬品工業株式会社



東菱薬品工業株式会社